



周囲の景観を損なうことがないように自然石などを利用した路面舗装が行われた



ポケットパーク内のモニュメント



植栽も多用して潤いのある景観づくりに配慮している

DATA・BOARD 35

- ①長崎県長崎市西坂町ほか
- ②延長：6,991m，幅員：4～8m
- ③JR長崎本線長崎駅から徒歩5分，九州横断自動車道長崎大分線多良見ICから車で約30分
- ④西坂公園 中町公園，長崎公園，諏訪神社，県立美術館，シーボルト記念館，風頭公園，龜山社中跡，若宮神社ほか
- ⑤長崎くんち，若宮神社竹ん芸，長崎ランタンフェスティバル



35 長崎歴史探訪路



長崎市は、その歴史性から海外の異なる文化が交錯し、地区ごとに表情が違う異国情緒のある景観を持っている。そこで、統一的なイメージではなく、地区ごとの特徴を活かしながら、歴史的建造物や史跡などを結び、街並みとけ込むような道づくりをめざして整備が進められたものが、「長崎歴史探訪路」である。

整備にあたっては、今も数多く残されている歴史的建造物や史跡が、道路整備によってストリー性を持って有機的にネットワーク化されるように配慮した。そのため、要所には案内板などを設置し、これらの資源の相互活用を図った。施工についても、地区の景観に違和感を与えないように進めたほか、市街地の緑化に努めたり、耐用年数が長くりサイクルが可能な自然石などを素材に使用するなどの配慮を行った。

また、計画に際しては、ここで日常生活を営んでいる住民がいることを念頭に置き、住民の快適な生活を重視し、それが訪れる人にも良好な環境を提供するという観点に立った。整備を進める段階においても、住民と行政の意見交換を行いながら工事が行われた。

そのため、まちづくりに対する参加意識が高揚され、整備後は地区の住民により花壇の手入れや清掃活動が行われているほか、建て替えの際にはデザインや色彩などの協調も図られるようになった。